

ストーブからの火事に注意

其の壱 ストーブの近くに燃えやすい物を置かない

衣類、布団、雑誌及びカーテン等の燃えやすい物の近くでストーブを使用すると、ちょっとしたはずみでストーブに接触し火事になる恐れがあります。



其の弐 その場を離れるときや寝るときには必ずストーブを消す

「すぐ帰るからストーブはつけたままでもいい。」と安易に考えず必ずストーブを消す習慣をつけてください。

寝るときに寒いからと言って布団の近くでストーブをつけたまま寝ると、寝返りなどで布団がストーブに接触し火事になる恐れがあります。



其の参 給油する時は必ず火を消す

ストーブに火がついたまま給油をすると、こぼれた灯油に燃え移る恐れがあるので必ず火を消し、消えたのを確認してから給油しましょう。

カートリッジタンクの場合は、給油後燃料キャップが確実に閉まっているか確認してください。



其の四 スプレー缶やカセットボンベをストーブの近くで使わない、置かない

ストーブの近くでスプレー缶を使用したり、ガス抜きをすると、噴出剤として使用している可燃性ガスに引火して火事になる恐れがあります。

ストーブの近くにスプレー缶やカセットボンベを置いておくと、熱でスプレー缶内部の圧力が上がり破裂する危険があります。



其の五 火がついたままストーブを移動させない

火がついたままストーブを移動させ、転倒すると火事や火傷の恐れがあります。



其の六 決められた燃料以外は使用しない

決められた燃料以外を使用すると、火事が発生する原因となります。

特にガソリンなどの可燃性の強い燃料を使用することは、大変危険です。

